第13回総合アレルギー講習会 実習詳細

食物経口負荷試験

目的

食物経口負荷試験の具体的な進め方を理解できます。

内容

(1)全体講義(10分以内)：食物アレルギー診療ガイドライン2026に基づき、食物経口負荷試験の方法（微量負荷試験を含む）、リスク、注意点、評価法などについて、最重要の要点に絞り、講義を通して短時間で学べます。
(2) 少人数実習(60分)：専門科、経験年数等を考慮し、少人数（講師1名、参加者3名）のグループ分けを行います。乳児期から成人期までの15例の模擬負荷試験症例から負荷試験の選択、症状への対応、外来管理などについて、ディスカッションを通じて学ぶことができます。
(3) 試食・質疑応答(20分)：テーブル毎に負荷食のブースに移動し、試食します（10分程度）。各テーブルで一流の講師の先生方に質問できます。質疑応答の時間が十分にあり、日頃の疑問を解消できます。

特徴

(1)洗練された実習内容：毎年改善を重ね、毎年継続して極めて高い満足度を得ています。（第12回アンケートでは回答者の95%が「とても良かった」と回答）
(2)一流の講師陣：一流の講師の先生方と直接話せる貴重な機会です。
(3)試食：様々な負荷食品を試食できます。常温保存可能な負荷試験食サンプルを持ち帰ることもできます。


A


A
D
F